

漢字の学習意識に関するタイ人日本語学習者とタイ人日本語教師の傾向と対照

Trends and Contrasts of Attitudes toward Kanji Learning between
Thai Learners of Japanese Language and Thai Teachers
of Japanese Language

橋本 功

Hashimoto, Isao

タイ商工会議所大学 人文学部

School of Humanities, University of the Thai Chamber of Commerce

Corresponding Author:

Hashimoto, Isao

School of Humanities, University of the Thai Chamber of Commerce

126/1 Vibhavadi Rangsit Rd, Khwaeng Din Daeng, Din Daeng, Bangkok 10400, Thailand

E-mail: hashimoto_isa@utcc.ac.th

Received: February 8, 2024

Revised: April 26, 2024

Accepted: July 4, 2024

漢字の学習意識に関するタイ人日本語学習者とタイ人日本語教師の傾向と対照

要旨

タイ人日本語学習者が抱く漢字の学習意識は多岐に渡ることが先行研究から明らかになっている。しかしながら、タイ人日本語教師が賛同する漢字の学習意識に対する研究はほとんど行われていないのが実情であることから、タイ人日本語学習者が抱く漢字の学習意識とタイ人日本語教師が賛同する漢字の学習意識とを対照することは意義があると考えた。そこで、タイ人日本語学習者 129 名とタイ人日本語教師 35 名を対象に質問紙調査を実施し、統計学を基に対照分析を行った。その結果と考察は以下の通りである。

1. タイ人日本語学習者と比較して、タイ人日本語教師のほうが漢字学習に関する意識がより肯定的なものであった。また、タイ人日本語教師のほうが、目的を持って漢字学習に臨む姿勢及び漢字学習と日本文化との結びつきが重要と捉える傾向が見られた。
2. 中高年のタイ人日本語教師と比較して、若手のタイ人日本語教師のほうが「漢字の読み」を重視する傾向が高かった。換言すれば、中高年のタイ人日本語教師のほうが「漢字の書き」を重視する傾向が相対的に高いことが示唆された。
3. タイ人日本語学習者は、間違えそうな場合「漢字使用の回避」をする傾向が見られた。

今後の漢字教育への提案として、「漢字の読み」といった視覚情報を重視する現状及び時代の趨勢を鑑みて、教室活動における ICT の積極的な活用を取り上げたい。

キーワード：タイ人日本語学習者が抱く漢字の学習意識、タイ人日本語教師が賛同する漢字の学習意識、非漢字圏日本語学習者、若手教師、中高年教師

Trends and Contrasts of Attitudes toward Kanji Learning between Thai Learners of Japanese Language and Thai Teachers of Japanese Language

Abstract

Attitudes toward Kanji learning for Thai learners of Japanese language are full of variety. However, researches on attitudes for Thai teachers of Japanese language have scarcely been done. It is important to contrast the attitudes held by Thai learners and Thai teachers. Questionnaires were conducted based on 129 Thai learners majored in Japanese language and 35 Thai teachers in charge of Japanese language. Similarity and differences were shown by contrastive analysis with statistics. Results and discussion are described below.

1. For Thai teachers, the attitude toward Kanji learning is relatively more affirmative than Thai learners. When it comes to Kanji learning, Thai teachers are more likely than Thai learners to believe in the importance of Kanji learning with purpose and strong connections to Japanese culture.

2. For young Thai teachers, the attitude toward “significance of reading Kanji” is relatively more apparent than middle-aged and elderly Thai teachers. In other words, it suggests that middle-aged and elderly Thai teachers place importance on “significance of writing Kanji” more than young Thai teachers. This attitude may affect Thai learners’ Kanji acquisition.

3. For Thai learners, the attitude toward “avoidance behavior of using Kanji” is observed, when they are likely to make mistakes of writing.

Given the current situation that young Thai teachers are likely to focus on “reading Kanji”, active use of ICT could be desired in classroom activities for Kanji education.

Keywords: Kanji, Thai learners’ attitudes, Thai teachers’ attitudes, Non-Kanji background learners, young and elderly teachers

1. はじめに

漢字学習が困難と感じる非漢字圏学習者は少なくない。また、タイ国の高等教育機関において入学後に日本語学習を開始するタイ人学習者も少なくない。非漢字圏学習者であることから、漢字に対する学習動機の低下傾向が否めない。そのため、日本語教師側の課題として、漢字教育の改善が望まれている。

非母語話者日本語教師を扱った先行研究としては、ヴェントーラ（2007）があり、フィリピン人日本語教師の漢字学習に対するビリーフについて報告している。また、濱川（2015）では、日本語非母語話者の漢字学習に関する意識について報告している。しかし、「学習者に影響を与えるであろう日本語教師を対象にした研究はほとんど行われていない」（濱川 2015, p.18）のが現状である。非母語話者日本語教師もかつては学習者であり、漢字の習得に苦労を重ねたことは想像に難くない。そこで、漢字教育を担う非母語話者教師の立場として、非漢字圏日本語学習者が抱く漢字学習の意識を有用と捉える否か、つまり、教師が賛同する漢字学習の意識に関して検証する。

本稿の目的は2点である。1点目は、タイ人日本語学習者が抱く漢字の学習意識とタイ人日本語教師が賛同する漢字の学習意識とを対照することによって、両群間の類似点と相違点を明らかにすることである。2点目は、タイ人日本語教師が賛同する漢字の学習意識について、年齢層の違いに基づき検証を行うことである。

2. 先行研究

2.1 タイ人日本語学習者の漢字学習意識

タイ人日本語学習者を対象にした漢字学習の意識調査研究としては、ソムチャイ（2008）が挙げられる。ソムチャイ（2008）は、タイ人学習者 197 名を対象として質問紙調査を実施した。調査票は、ヴェントーラ（2007）が使用したものを一部借用してタイ語に翻訳している。その結果から、タイ人学習者の漢字学習に対するビリーフとして、「漢字を勉強するとき練習や復習は欠かせない」「努力すれば、漢字学習に成功する」「漢字を勉強することは大切だ」「日本語能力を高めるために漢字を勉強しなければならない」が上位に挙げたことを報告している。

2.2 非母語話者日本語教師が賛同する漢字の学習意識

近年、漢字学習の意識やビリーフに着目した研究が行われるようになってきた。しかし、先述の通り、学習者に影響を与えるであろう日本語教師を対象にした研究はほとんど行われていない。特に、日本語非母語話者教師が賛同する漢字学習の意識やビリーフに着目した先行研究は僅かに見られる程度である。

ヴェントーラ（2007）は、フィリピン人日本語学習者 209 名とフィリピン人日本語教師 25 名を対象として質問紙調査を実施した。調査票は、Shimizu（1999）が使用したものを一部借用している。その結果から、フィリピン人日本語教師のビリーフとして「漢字学習法」を重視していることを報告している。

濱川（2015）は、教授歴 5 年未満かつ年齢が 35 歳未満の日本語非母語話者教師 60 名を対象として、質問紙調査を実施した。調査票はヴェントーラ（2007）やルッシー（2011）等を参考にした 39 項目からなるものを使用した。その結果から、「努力すれば漢字学習は成功し、漢字がわかれば役に立つことが多い」「パソコンでタイプできても漢字の勉強は必要だ」等、漢字学習を前向きに捉えていることを報告している。

濱川 (2020) は、カナダの日本語教師 21 名を対象として学習意識に関する質問紙調査を実施した。その結果から、「漢字が読めるようになることは、漢字学習において非常に重要だ」「さまざまな読み物 (小説やマンガ、新聞など) が読めるようになるには、漢字の学習が必要だ」「日本社会で生活するためには、漢字の学習が必要だ」「日本語のレベルを総合的に上げるためには、漢字の学習が必要だ」「漢字の難しさは、一つの漢字に対していくつもの読み方が存在することにある」が上位に挙げられたことを報告している。尚、濱川 (2020) では濱川 (2017) の調査票をもとに新たに作成したものを使用した。

2.3 質問紙調査

非漢字圏日本語学習者を対象にした漢字学習の意識やビリーフに関する先行研究では、Horwitz (1987) による学習者のビリーフについての BALLI (Beliefs About Language Learning Inventory) を参照した研究が見られる (ブシマキナ 2013a, 2013b)。また、Shimizu (1999) を参照した研究が見られる (ヴェントーラ 2007 等)。

濱川 (2017) は、大北 (1995)、ヴェントーラ (2007)、ソムチャイ (2008) 他の調査項目を参考にして 39 項目から成る漢字学習に対する質問調査票を新たに開発した。また、濱川 (2017) は、当該調査票に翻訳を付加し、日本語のほか 7 か国語から成る質問調査票を用意し、国内外の様々な教育機関で活用されることを期待し提供している。

3. 調査対象と調査方法

3.1 タイ人日本語学習者の漢字の学習意識

3.1.1 調査対象

対象者はバンコク都内にある私立大学に所属する日本語専攻のタイ人日本語学習者 (以下「C 学習者」という) 129 名であった。C 学習者の日本語レベルは入学時点でほとんどの者が未習であった。また、調査時点での日本語レベルは N5 合格レベルから N3 合格レベルまでであった。

3.1.2 調査方法

質問調査票は、濱川 (2017) で翻訳された漢字の学習意識 39 項目 (タイ語版) とし、5—強く賛同する 4—だいたい賛同する 3—どちらともいえない 2—あまり賛同しない 1—全然賛同しない、の 5 段階評定であった。調査は 2023 年 8 月に行い、紙媒体と Google フォームを併用した。尚、本項で用いた質問調査票は巻末に添付してある (添付参考資料 1 参照)。

3.2 タイ人日本語教師が賛同する漢字の学習意識

3.2.1 調査対象

対象者はタイ国内の大学または日本語学校に所属するタイ人日本語教師 (以下「T 教師」という) 35 名であり、対象の教育機関は多岐に渡った。T 教師の日本語レベルは概ね N2-N1 の上級レベルであった。また、年齢の内訳は 40 歳未満 (以下「若手」という) が 15 名、40 歳以上 (以下「中高年」という) が 20 名であった。

3.2.2 調査方法

質問調査票は、濱川（2017）で翻訳された漢字の学習意識 39 項目（タイ語版）を使用した。教師の視点で、学習者が抱く漢字の学習意識に賛同するか否かの基準により、5-強く賛同する 4-だいたい賛同する 3-どちらともいえない 2-あまり賛同しない 1-全然賛同しない、の 5 段階評定であった。また、5 段階評定に関わる翻訳は、日本語が N1 合格レベルのタイ人日本語教師に依頼した。調査は 2023 年 8 月に行い、紙媒体と Google フォームを併用した。尚、本項で用いた質問調査票は巻末に添付してある（添付参考資料 2 参照）。

4. 調査結果

以下 4.1 では、C 学習者が抱く漢字学習意識と T 教師が賛同する漢字学習意識の傾向について述べる。4.2 では、C 学習者の漢字学習意識と T 教師が賛同する漢字学習意識との間の類似点と相違点について述べる。4.3 では、年齢層別における T 教師が賛同する漢字学習意識の傾向について述べる。

まず、C 学習者 129 名が抱く漢字学習意識と T 教師 35 名が賛同する漢字学習意識における平均値等の抽出を行った。表 1 及び表 2 に両群の詳細を示す。

表 1 C 学習者が抱く漢字の学習意識における順位と平均値等

C 学習者 (N=129)													
順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
項目	16	02	12	01	05	25	14	39	26	17	27	28	32
平均値	4.19	4.11	3.96	3.87	3.72	3.71	3.60	3.59	3.55	3.54	3.40	3.40	3.39
標準偏差	0.72	0.80	0.99	0.96	1.06	1.09	1.12	1.21	1.09	1.01	1.02	1.13	1.19
順位	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
項目	38	09	07	22	13	35	21	24	15	30	06	37	33
平均値	3.33	3.32	3.31	3.31	3.30	3.29	3.28	3.24	3.19	3.13	3.12	3.09	2.99
標準偏差	0.98	0.89	1.20	1.22	1.09	1.18	1.17	1.13	1.09	1.08	0.99	1.21	1.26
順位	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
項目	18	04	31	10	03	08	19	36	11	20	23	29	34
平均値	2.94	2.93	2.82	2.77	2.67	2.64	2.60	2.57	2.55	2.53	2.52	2.49	2.48
標準偏差	1.21	1.23	1.11	1.15	1.19	1.23	1.04	1.23	1.18	1.11	1.23	1.43	1.54

表2 T 教師が賛同する漢字の学習意識における順位と平均値等

T 教師 (N=35)													
順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
項目	27	12	16	38	25	30	01	17	02	32	14	26	22
平均値	4.20	4.19	4.13	4.09	3.98	3.89	3.64	3.59	3.54	3.50	3.49	3.48	3.40
標準偏差	0.72	0.69	0.71	0.86	0.98	1.23	1.21	1.14	1.31	0.97	1.12	1.21	1.23
順位	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
項目	19	09	15	08	35	28	29	37	05	06	07	10	13
平均値	3.32	3.32	3.31	3.30	3.30	3.28	3.19	3.15	3.14	3.13	3.11	3.07	3.01
標準偏差	1.23	1.31	1.14	1.25	1.09	1.24	1.04	0.99	1.04	1.39	1.39	1.33	1.42
順位	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
項目	31	34	04	11	20	39	03	23	33	18	24	36	21
平均値	3.00	2.96	2.94	2.91	2.84	2.79	2.72	2.70	2.69	2.65	2.62	2.60	2.60
標準偏差	1.11	1.23	1.12	1.21	1.16	1.22	1.25	1.29	1.22	1.25	1.34	1.32	1.31

4.1 C 学習者が抱く漢字の学習意識と T 教師が賛同する漢字の学習意識に関する使用傾向

4.1.1 C 学習者が抱く漢字の学習意識における上位 10 項目

表 1 のうち、C 学習者の上位に抽出された 10 項目の詳細を表 3 に示す。

表3 C 学習者が抱く漢字の学習意識上位 10 項目における項目内容と平均値等

順位	分類	項目	平均値	標準偏差
1	有効性	16 漢字がわかれば、様々なもの (小説・まんが・新聞等) が読めるようになる	4.19	0.72
2	難しさ	02 1つの漢字に読み方がたくさんあるから難しい	4.11	0.80
3	有効性	12 漢字がわかると、日本・日本社会で生活しやすくなる	3.96	0.99
4	学習法	01 漢字を書く能力より、漢字を読む能力のほうが大切だ	3.87	0.96
5	難しさ	05 覚えたのに、忘れてしまうからいやだ	3.72	1.06
6	有効性	25 漢字のことばの意味が想像できると、日本語の文章がもっとわかりやすくなる	3.71	1.09
7	難しさ	14 読み方の似ている漢字が多いから難しい	3.60	1.12
8	回避	39 間違えそうなら、漢字を使わないほうがいい	3.59	1.21
9	難しさ	26 漢字の読み方がわからないから困る	3.55	1.09
10	難しさ	17 漢字の数がたくさんあるから困る	3.54	1.01

使用頻度上位 10 位までに抽出された項目は、「有効性」「難しさ」「回避」「学習法」の 4 つの分類に関するものであった。「有効性」と「難しさ」に関しては、非漢字圏学習者を対象とした先行研究と類似の結果となった（ソムチャイ 2008、坂野・池田 2009、石田 2020、濱川 2020 等）。一方、「回避」の項目 39 に関しては他の先行研究と異なり、本稿では上位に挙げた。また、「学習法」のうちの項目 38「努力すれば、だれでも漢字学習は成功する」が他の先行研究と異なり、本稿では上位に挙げられなかった。特に、本稿での項目 38 の結果が、同様のタイ人日本語学習者を対象としたソムチャイ（2008）と異なる結果となったのは特筆すべき点と言えよう。ソムチャイ（2008）から本稿に至るまでに約 15 年の経過年数があり、タイ人日本語学習者が抱く漢字の学習意識に変化が生じた可能性が推察される。

4.1.2 T 教師が賛同する漢字の学習意識の上位 10 項目

表 2 のうち、T 教師が賛同する漢字の学習意識の上位に抽出された 10 項目の詳細を表 4 に示す。

表 4 T 教師が賛同する漢字の学習意識上位 10 項目における項目内容と平均値等

順位	分類	項目	平均値	標準偏差
1	有効性	27 日本語能力を高めるために、漢字を勉強する必要がある	4.20	0.72
2	有効性	12 漢字がわかると、日本・日本社会で生活しやすくなる	4.19	0.69
3	有効性	16 漢字がわかれば、様々なもの（小説・まんが・新聞等）が読めるようになる	4.13	0.71
4	学習法	38 努力すれば、だれでも漢字学習は成功する	4.09	0.86
5	有効性	25 漢字のことばの意味が想像できると、日本語の文章がもっとわかりやすくなる	3.98	0.98
6	有効性	30 日本文化を理解するために、漢字をたくさん暗記する必要がある	3.89	1.23
7	有効性	01 漢字を書く能力より、漢字を読む能力のほうが大切だ	3.64	1.21
8	難しさ	17 漢字の数がたくさんあるから困る	3.59	1.14
9	難しさ	02 1 つの漢字に読み方がたくさんあるから難しい	3.54	1.31
10	情意面	32 漢字の読み方を勉強するのが楽しい	3.50	0.97

表 4 より、上位に挙げた項目のうち、項目 12、項目 16、項目 25、項目 27 に関して濱川（2020）を支持する結果となり、非母語話者日本人教師が漢字習得に伴う有効性および実用性を重視する姿勢がうかがえる。

4.1.3 C 学習者が抱く漢字の学習意識と T 教師が賛同する漢字の学習意識に関する下位 2 項目

本項では、表 1 及び表 2 で下位の結果となった 2 項目に関して、C 学習者と T 教師の各々の傾向について述べる。

まず、表 1 のうち、C 学習者が抱く漢字の学習意識の下位に抽出された 2 項目の詳細を表 5 に示す。次に、表 2 のうち、T 教師が賛同する漢字の学習意識の下位に抽出された 2 項目の詳細を表 6 に示す。

ソムチャイ（2008）はタイ人日本語学習者を対象にしたものであったが、先述の通り本稿ではタイ人日本語学習者に加えてタイ人日本語教師も対象にした。表 6 より、T 教師の下位に属する項目 21「有効性」と項目 36「適性」に関して、ソムチャイ（2008）と同様の結果となった。つまり、T 教師が概ね

賛同しない漢字の学習意識とソムチャイ（2008）のタイ人日本語学習者が概ね抱かない漢字の学習意識が一致した。一方で、表 5 より、C 学習者が概ね抱かない漢字の学習意識として「学習法」が最下位となり、漢字の書き順や暗記を好まない結果となった。これは、4.1.1.の結果と同様に、本項においてもソムチャイ（2008）と異なる結果となった。

表 5 C 学習者が抱く漢字の学習意識下位 2 項目における項目内容と平均値等

順位	分類	項目		平均値	標準偏差
39	学習法	34	漢字を書き順のとおりには書かなければならない	2.48	1.54
38	学習法	29	漢字を暗記して覚える学習方法が好きだ	2.49	1.43

表 6 T 教師が賛同する漢字の学習意識下位 2 項目における項目内容と平均値等

順位	分類	項目		平均値	標準偏差
39	有効性	21	パソコンでタイプするので、漢字を勉強する必要はあまりない	2.60	1.31
38	適性	36	漢字を学習するための特別な能力を持っている人がいる	2.60	1.32

4.2 C 学習者と T 教師の漢字の学習意識における類似点と相違点

4.2.1 類似点

表 3 で抽出された C 学習者が抱く漢字の学習意識及び表 4 で抽出された T 教師が賛同する漢字の学習の意識上位 10 項目のうち、項目 01、項目 02、項目 12、項目 16、項目 17、項目 25 の 6 つが同一の結果であった。その項目内容と平均値等を抽出し、表 7 に示す。

表 7 の項目 01、項目 02、項目 16 により、漢字の「読み」に着目し重視する姿勢が両群の共通点として明らかになった。また、項目 12、項目 16、項目 25 により、漢字習得による有効性および実用性の点で漢字学習に対する肯定的な意識を抱いていることも両群の共通点として明らかになった。一方、項目 17 により、C 学習者のみならず T 教師も同様に、漢字字数の多さを漢字学習に対する否定的な意識要因として捉えていることがわかった。

表 7 上位 10 項目のうち、C 学習者と T 教師に共通する項目内容と平均値等

分類	項目		C 学習者 (N=129)		T 教師 (N=35)	
			平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
有効性	01	漢字を書く能力より、漢字を読む能力のほうが大切だ	3.87	0.96	3.64	1.21
難しさ	02	1 つの漢字に読み方がたくさんあるから難しい	4.11	0.80	3.54	1.31
有効性	12	漢字がわかると、日本・日本社会で生活しやすくなる	3.96	0.99	4.19	0.69
有効性	16	漢字がわかれば、様々なもの（小説・まんが・新聞等）が読めるようになる	4.19	0.72	4.13	0.71
難しさ	17	漢字の数がたくさんあるから困る	3.54	1.01	3.59	1.14
有効性	25	漢字のことばの意味が想像できると、日本語の文章がもっとわかりやすくなる	3.71	1.09	3.98	0.98

4.2.2 相違点

表3で抽出されたC学習者が抱く漢字の学習意識及び表4で抽出されたT教師が賛同する漢字の学習意識上位10項目のうち、異なる結果となったのは、項目05、項目14、項目26、項目27、項目30、項目32、項目38、項目39の8つであった。その項目内容、平均値等、*t*値を表8に示す。

表8 上位10項目のうち、C学習者とT教師で異なる項目の*t*検定の結果

分類	項目		C学習者 (N=129)		T教師 (N=35)		<i>t</i> 値	
			平均 値	標準 偏差	平均 値	標準 偏差		
難しさ	05	覚えたのに、忘れてしまうからいやだ	3.72	1.06	3.14	1.04	2.00	**
難しさ	14	読み方の似ている漢字が多いから難しい	3.60	1.12	3.49	1.12	1.99	
難しさ	26	漢字の読み方がわからないから困る	3.55	1.09	3.48	1.21	2.00	
有効性	27	日本語能力を高めるために、漢字を勉強する必要がある	3.40	1.02	4.20	0.72	2.00	**
有効性	30	日本文化を理解するために、漢字をたくさん暗記する必要がある	3.13	1.08	3.89	1.23	2.00	**
情意面	32	漢字の読み方を勉強するのが楽しい	3.39	1.19	3.50	0.97	1.99	
学習法	38	努力すれば、だれでも漢字学習は成功する	3.33	0.98	4.09	0.86	1.99	**
回避	39	間違えそうなら、漢字を使わないほうがいい	3.59	1.21	2.79	1.22	1.99	**

* $p < .05$ ** $p < .01$

C学習者129名とT教師35名の平均値の間に有意な差があるか*t*検定を行った。有意水準は5%未満とした。各群の平均値の比較には、*F*検定により等分散性の有無を確認した後、対応のない*t*検定を用いた。その結果、項目14、($t(162) = 1.99, p = .46$)と項目26、($t(162) = 2.00, p = .67$)と項目32、($t(162) = 1.99, p = .53$)は両群間に有意差が認められなかった。一方、項目05、($t(162) = 2.00, p < .01$)と項目27、($t(162) = 2.00, p < .01$)と項目30、($t(162) = 2.00, p < .01$)と項目38、($t(162) = 1.99, p < .01$)と項目39、($t(162) = 1.99, p < .01$)は全て両群間に有意差が認められた。

C学習者とT教師の共通点の一つとして、漢字学習に対して有効性の点で肯定的な意識を抱いていることが4.1.1と4.1.2の結果から判明した。さらに、表8による推計統計の結果、タイ人日本語学習者と比較して、タイ人日本語教師のほうが漢字学習に対して有効かつ実用であるという意識、すなわち肯定的な態度を抱く傾向が更に顕著に高いことが明らかになった。一方、タイ人日本語教師と比較して、タイ人日本語学習者のほうが記憶の定着の悪さ、漢字使用の回避など、漢字学習に対して消極的または否定的な態度を抱く傾向が相対的に高い実態が明らかになった。

4.3 年齢層別におけるT教師が賛同する漢字の学習意識の傾向

表4より、T教師が賛同する漢字の学習意識に関する各々の項目を若手と中高年に分類し、それらの平均値等と*t*値を表9に示す。

表9 年齢層別に関わる t 検定の結果 (T 教師上位 10 位)

総合順位	分類	項目	若手 (n=15)			中高年 (n=20)			t 値	
			群内順位	平均値	標準偏差	群内順位	平均値	標準偏差		
1	有効性	27	日本語能力を高めるために、漢字を勉強する必要がある	1	4.19	0.91	1	4.24	0.83	1.99
2	有効性	12	漢字がわかると、日本・日本社会で生活しやすくなる	2	4.14	0.98	2	4.22	0.92	1.99
3	有効性	16	漢字がわかれば、様々なもの（小説・まんが・新聞等）が読めるようになる	3	4.03	1.07	2	4.22	0.91	1.99
4	学習法	38	努力すれば、だれでも漢字学習は成功する	4	3.86	0.95	4	4.14	0.98	1.99
5	有効性	25	漢字のことばの意味が想像できると、日本語の文章がもっとわかりやすくなる	4	3.86	0.92	5	4.11	0.97	1.99
6	有効性	30	日本文化を理解するために、漢字をたくさん暗記する必要がある	4	3.86	0.95	6	4.00	0.97	1.99
7	有効性	01	漢字を書く能力より、漢字を読む能力のほうが大切だ	7	3.84	0.96	12	3.22	1.16	1.98 *
8	難しさ	17	漢字の数がたくさんあるから困る	8	3.65	0.98	11	3.41	0.80	1.99
9	難しさ	02	1つの漢字に読み方がたくさんあるから難しい	9	3.64	0.98	12	3.22	1.18	1.99
10	情意面	32	漢字の読み方を勉強するのが楽しい	9	3.64	0.97	17	3.11	1.15	1.98 *

* $p < .05$ ** $p < .01$

表9の漢字学習意識上位10項目より、T教師の若手15名と中高年20名の平均値の間に有意な差があるか t 検定を行った。有意水準は5%未満とした。各群の平均値の比較には、F検定により等分散性の有無を確認したのち、対応のない t 検定を用いた。その結果、項目27、($t(33) = 1.99, p = .79$) と項目12、($t(33) = 1.99, p = .89$) と項目16、($t(33) = 1.99, p = .41$) と項目38、($t(33) = 1.99, p = .16$) と項目25、($t(33) = 1.99, p = .27$) と項目30、($t(33) = 1.99, p = .54$) と項目17、($t(33) = 1.99, p = .24$) と項目02、($t(33) = 1.99, p = .09$) は両群間に有意差が認められなかった。一方、項目01、($t(33) = 1.98, p = .02$) と項目32、($t(33) = 1.98, p = .03$) は両群間に有意差が認められた。

T教師の特徴の一つとして漢字の「読み」を重視する姿勢が見受けられるのは先述の4.1.2及び4.2.1で明らかになったが、項目01の推計統計の結果、中高年のタイ人日本語教師と比較して、若手のタイ人日本語教師のほうが漢字の「読み」を重視する態度が相対的に高いことが明らかになった。換言すれば、中高年のタイ人日本語教師は「読み」にのみ偏向するのではなく「書き」も相対的に重要と捉える、つまりインプット（読み）とアウトプット（書き）のバランスを重視する傾向が推察される。また、項目32の推計統計の結果、中高年のタイ人日本語教師と比較して、若手のタイ人日本語教師のほうが漢字の「読み方」に関する学習の際に、情意面における心地良さといった肯定的な感情を抱く傾向にあることがわかった。

5. 考察

5.1 項目別解釈

5.1.1 教師の積極姿勢と学習者の消極姿勢

タイ人日本語学習者とタイ人日本語教師との間の類似点として、「漢字を書く能力より、漢字を読む能力のほうが大切だ」「1つの漢字に読み方がたくさんあるから難しい」「漢字がわかれば、様々

なもの（小説・まんが・新聞等）が読めるようになる」が挙げたように、漢字の「読み」を重視する実態が明らかになった。この点において、漢字の習熟度に関わりなく「書き（アウトプット）」よりも「読み（インプット）」の機会のほうが多いことがその理由として推察される。また、「漢字がわかると、日本・日本社会で生活しやすくなる」「漢字がわかれば、様々なもの（小説・まんが・新聞等）が読めるようになる」「漢字のことばの意味が想像できると、日本語の文章がもっとわかりやすくなる」が挙げたように漢字学習の有効性ならびに実用性に賛同する実態が両群の類似点として明らかになった。

しかしながら一方で、漢字学習の有効性に関して一部の項目では両群間に相違点が見られる。つまり「日本語能力を高めるために、漢字を勉強する必要がある」「日本文化を理解するために、漢字をたくさん暗記する必要がある」に関しても同様に有効性に分類されるのだが、タイ人日本語学習者と比較して、タイ人日本語教師のほうが有効性ならびに実用性に賛同する姿勢が相対的に高いことが判明した。要するに、漢字学習において有効性が全般的に高いことが両群の類似点である一方で、有効性に属する特定の項目においては両群間の差が統計的に有意であることが明らかになった。漢字と日本語能力の関係性ならびに漢字と日本文化の関係性において、学習経験が豊かなタイ人日本語教師が重要だとの意識を抱く一方で、学習途上にあるタイ人日本語学習者にとって相対的に意識が低いものと考えられる。

次に、タイ人日本語学習者の観点で言えば、「覚えたのに、忘れてしまうからいやだ」に相対的に肯定的であり、「努力すれば、だれでも漢字学習は成功する」に相対的に否定的であり、「間違えそうなら、漢字を使わないほうがいい」に相対的に肯定的であることが、タイ人日本語教師と比較して有意差が認められた。つまり、タイ人日本語学習者は、漢字習得の「難しさ」に加えて漢字学習に対する否定的かつ消極的な意識を抱く傾向が高いと言える。特に、漢字のアウトプットに「回避」行動が見られるなどの消極的な態度を取るのは、日本語における漢字仮名交じり文の特徴により平仮名の代用が一定の範囲内で認められることに起因することが示唆される。さらに、タイ人日本語教師と比較して、タイ人日本語学習者は書き順や暗記などの「学習法」を相対的に好まない傾向が見られ、従来の意識からの変化がうかがえる。

5.1.2 漢字の「読み」に対する若手教師と中高年教師の意識の違い

昨今、コンピューター／スマートフォンの普及や IT 技術の進歩には目覚ましいものがある。また、手筆する機会が減少するとともにキーボード入力主流となった。さらに、漢字学習に特化したアプリ等の登場により視覚を通して様々な情報を得る機会が増大するようになった。それらに伴い、学習者にとっての漢字の学習方法にも変化が見られつつある。このような背景から、中高年のタイ人日本語教師と比較して、若手の日本語教師のほうが「書く」よりも「見る／読む」に漢字学習に対する有意性を抱く傾向が高いと言えるのではないだろうか。

5.2 総合解釈

タイ人日本語学習者とタイ人日本語教師の漢字学習意識に関して、以下に総合的な解釈を述べる。

漢字学習と日本語学習は不可分の関係であり、タイ人日本語学習者とタイ人日本語教師の両群に共通する認識である。さらに、漢字の習得が日本語の文章理解に寄与することも両群共通の認識であることがわかった。しかしながら、タイ人日本語教師は漢字学習の目的を、実用性の領域に留まらずに日本語能力の向上ならびに日本文化の理解といった俯瞰的な視点で捉えていることがうかがえる。タイ人日本語教師もかつては非漢字圏学習者であったが、自身の漢字学習の経験を通して、目的を持って

学ぶことの重要性、さらには漢字学習が文化理解と密接に結びつくことを教師のポリシーとして抱いていることが推察される。一方で、タイ人日本語学習者には漢字のアウトプットに「回避」行動が見られるなど消極的な態度を取る傾向にあるが、日本語学習全体における漢字学習の位置づけが相対的に低く、さらには漢字学習の目的が相対的に希薄であることが考えられる。

次に、漢字の「読み」を重視する姿勢に関して、タイ人日本語学習者と若手のタイ人日本語教師は意識が近似した関係にあるが、中高年のタイ人日本語教師は「読み」に加えて「書き」も同時に相対的に重要と捉える傾向にある。つまり、指導する立場の担当教師の年齢によってコースデザインに差異が生じる可能性があり、タイ人日本語学習者の漢字の学習意識に多大な影響を及ぼす可能性があると言えるだろう。

6. おわりに

本稿では、タイ人日本語学習者およびタイ人日本語教師の「漢字の学習意識」という観点から、以下の2点の目的にしたがって調査を行った。

まず、タイ人日本語学習者が抱く漢字の学習意識とタイ人日本語教師が賛同する漢字の学習意識とを対照することによって、両群間の類似点と相違点を明らかにすることが第一の目的であった。その結果、漢字の「読み」に着目し重視する姿勢が両群間の類似点として見られた。また全般的な傾向であるが、漢字学習の有効性ならびに実用性も同様に両群間の類似点として見られた。しかしながら、有効性に分類される「日本語能力を高めるために、漢字を勉強する必要がある」「日本文化を理解するために、漢字をたくさん暗記する必要がある」に関しては、タイ人日本語教師のほうが漢字学習に対して肯定的な意識を抱く傾向が相対的に高いことが相違点として明らかになった。一方、タイ人日本語教師と比較して、タイ人日本語学習者のほうが記憶の定着の悪さ、漢字使用の回避など、漢字学習に対して消極的または否定的な態度を抱く傾向が相対的に高い実態が相違点として明らかになった。

次に、タイ人日本語教師が賛同する漢字の学習意識について、年齢層の違いに基づき検証を行うことであった。その結果、中高年のタイ人日本語教師と比較して、若手のタイ人日本語教師のほうが漢字の「読み」を重視する傾向が相対的に高いことが明らかになった。

7. 漢字教育への提案と今後の課題

まず、本稿の調査結果を基に、今後の漢字教育に対して提案を述べる。従来の漢字教育においては「読み」と「書き」のバランスを重視する姿勢が全般的な傾向として見られた。しかしながら、意識を異にする教師の世代交代に伴い、さらに IT 技術の進歩及び普及による漢字の手筆機会の減少に伴い、時代の趨勢として「読み」中心へと移行しつつある現状に着目する必要があるであろう。そのため、漢字教育の教室活動において、ICT の積極的な活用が望まれる。その結果として、非漢字圏学習者にとって無味乾燥な漢字学習からの脱却を図るとともに、学習満足度の向上に寄与するものとする。

次に、今後の課題として、日本語学習歴が同程度のタイ人日本語学習者を対象にして、漢字習熟度テストの結果から上位グループと下位グループに分け、グループ間における漢字の学習意識を対照分析したい。つまり、漢字の習熟レベルの違いにより学習者間の類似点及び相違点を探っていききたい。

References

- Horwitz, E. (1987). Surveying Students Beliefs about Language Learning. In A. L. Wenden, & J. Rubin (Eds.), *Learner Strategies in Language Learning* (pp. 119-129). Prentice-Hall.
- Shimizu, H. (1999). *Language teachers' attitudes towards teaching kanji in the Japanese language curriculum* [Doctoral Dissertation, University of Denver]. ProQuest Dissertations & Theses Global.
- 石田ゆり子. (2020). 「ベトナム人日本語学習者の漢字学習に関する意識と方法—都内日本語学校に通う留学生への質問紙調査より—」. 『JSL 漢字学習研究会』 12, 33-42.
- ヴェントーラ・フランチェスカ. (2007). 「フィリピン人日本語学習者と教師の漢字学習に対するビリーフとストラテジー使用—漢字教育の改善のために—」. 『日本語文化研究会論集』 3, 141-168.
- 大北葉子. (1995). 「漢字学習ストラテジーと学生の漢字学習に対する信念」. 『世界の日本語教育』 5, 105-123.
- 坂野永理・池田庸子. (2009). 「非漢字圏学習者の漢字学習意識とストラテジー使用」. 『留学生教育』 14, 13-21.
- ソムチャイ・チャイヤケッタナン. (2008). 「タイ人日本語学習者の漢字学習に対するビリーフとストラテジー使用」. チュラーロンコーン大学文学部東洋言語学科日本語講座 修士論文.
- 濱川祐紀代. (2015). 「日本語非母語話者教師の漢字学習に関する意識—非漢字系若手教師への質問紙調査より—」. 『日本語教育方法研究会誌』 22(1), 18-19.
- 濱川祐紀代. (2017). 「非漢字系日本語学習者のための漢字学習の方法と意識に関する質問紙調査—調査の手順と調査票の共有—」. 『JSL 漢字学習研究会誌』 9, 28-61.
- 濱川祐紀代. (2017). 「非漢字系日本語学習者のための漢字学習の方法と意識に関する質問紙調査—調査の手順と調査票の共有—」. 『JSL 漢字学習研究会誌』 9号、32-33.
- 濱川祐紀代. (2020). 「漢字指導・漢字学習の方法と意識—カナダでの調査結果概要—」. 『JSL 漢字学習研究会誌』 12, 2-9.
- ブシマキナ・アナスタシア. (2013a). 「JSL 日本語学習者の漢字学習に対する意識—JSL 日本語学習者へのアンケート調査を通じて—」. 『金沢大学留学生センター紀要』 16, 45-61.
- ブシマキナ・アナスタシア. (2013b). 「ロシア人日本語学習者の漢字学習についてのビリーフ—ロシアの高等教育機関にて日本語を学んでいる学生に対するアンケート調査を元に—」. 『人間社会環境研究』 26, 205-218.
- ルッシー・ノファリダ・リドワン. (2011). 「インドネシアの大学における初級日本語学習者の漢字意識調査」. 『JSL 漢字学習研究会』 3, 1-7.

参考資料 1

漢字学習に関するアンケート

学生番号 _____ 名前 _____

学年 : 1年生 2年生 3年生 4年生 4年生超

<漢字の学習意識>

あなたは漢字学習について、どう思っていますか。

項目 1 から 39 をよく読んで、「5. 強く賛同する、4. だいたい賛同する、3. どちらともいえない、2. あまり賛同しない、1. 全然賛同しない」★の中から適当なものを1つだけ選び、○をつけてください。

強く賛同する 全然賛同しない

01. 漢字を書く能力より、漢字を読む能力のほうが大切だ	5	4	3	2	1
02. 1つの漢字に読み方がたくさんあるから難しい	5	4	3	2	1
03. 音符がわかると、音読みがわかるから、おもしろい	5	4	3	2	1
04. 大人にとって、漢字学習は困難だ	5	4	3	2	1
05. 覚えたのに、忘れてしまうからいやだ	5	4	3	2	1
06. 1つの漢字を複数のことばで使うから難しい	5	4	3	2	1
07. 形の似ている漢字があるから難しい	5	4	3	2	1
08. 漢語（漢字のことば）を知っていたら、長く説明しなくてもいいから楽だ	5	4	3	2	1
09. いつまでも漢字学習が終わらない気がして、いやだ	5	4	3	2	1
10. 漢字がきれいに書けると嬉しい	5	4	3	2	1
11. 漢字の学習方法がわからないからいやだ	5	4	3	2	1
12. 漢字がわかると、日本・日本社会で生活しやすくなる	5	4	3	2	1
13. 漢字の意味がわからないから困る	5	4	3	2	1
14. 読み方の似ている漢字が多いから難しい	5	4	3	2	1
15. 漢字の書き方を勉強するのが楽しい	5	4	3	2	1
16. 漢字がわかれば、様々なもの（小説・まんが・新聞等）が読めるようになる	5	4	3	2	1
17. 漢字の数がたくさんあるから困る	5	4	3	2	1
18. 漢字の形が絵のように見えて、おもしろい	5	4	3	2	1
19. 難しいことにチャレンジするのが好きだ	5	4	3	2	1
20. 漢字の書き方や書き順がわからないから困る	5	4	3	2	1

21. パソコンでタイプするので、漢字を勉強する必要はあまりない	5	4	3	2	1
22. 漢字の形が複雑だから難しい	5	4	3	2	1
23. 漢字の読み書きができると、周りの人に尊敬される	5	4	3	2	1
24. 努力しても、漢字が覚えられないからいやだ	5	4	3	2	1
25. 漢字のことばの意味が想像できると、日本語の文章がもっとわかりやすくなる	5	4	3	2	1
26. 漢字の読み方がわからないから困る	5	4	3	2	1
27. 日本語能力を高めるために、漢字を勉強する必要がある	5	4	3	2	1
28. 漢字は文字なのに、読み方も意味も表すからおもしろい	5	4	3	2	1
29. 漢字を暗記して覚える学習方法が好きだ	5	4	3	2	1
30. 日本文化を理解するために、漢字をたくさん暗記する必要がある	5	4	3	2	1
31. 漢字を覚えても、使い方がわからないから困る	5	4	3	2	1
32. 漢字の読み方を勉強するのが楽しい	5	4	3	2	1
33. 部首に意味があるから、おもしろい	5	4	3	2	1
34. 漢字を書き順のとおりには書かなければならない	5	4	3	2	1
35. 漢字をかな交じり文で書いてある文章は、ひらがなだけの文章に比べて読みやすい	5	4	3	2	1
36. 漢字を学習するための特別な能力を持っている人がいる	5	4	3	2	1
37. 漢字をきれいに書かなければならない	5	4	3	2	1
38. 努力すれば、だれでも漢字学習は成功する	5	4	3	2	1
39. 間違えそうなら、漢字を使わないほうがいい	5	4	3	2	1

参考資料 2

漢字学習に関するアンケート

名前 _____

年齢 : 30 歳未満 40 歳未満 50 歳未満 60 歳未満 60 歳以上

<漢字の学習意識>

学習者が抱く漢字の学習意識に関して、あなたは教師の立場でどう思いますか。

項目 1 から 39 をよく読んで、「5. 強く賛同する、4. だいたい賛同する、3. どちらともいえない、2. あまり賛同しない、1. 全然賛同しない」★の中から適当なものを1つだけ選び、○をつけてください。

強く賛同する 全然賛同しない

01. 漢字を書く能力より、漢字を読む能力のほうが大切だ	5	4	3	2	1
02. 1つの漢字に読み方がたくさんあるから難しい	5	4	3	2	1
03. 音符がわかると、音読みがわかるから、おもしろい	5	4	3	2	1
04. 大人にとって、漢字学習は困難だ	5	4	3	2	1
05. 覚えたのに、忘れてしまうからいやだ	5	4	3	2	1
06. 1つの漢字を複数のことばで使うから難しい	5	4	3	2	1
07. 形の似ている漢字があるから難しい	5	4	3	2	1
08. 漢語（漢字のことば）を知っていたら、長く説明しなくてもいいから楽だ	5	4	3	2	1
09. いつまでも漢字学習が終わらない気がして、いやだ	5	4	3	2	1
10. 漢字がきれいに書けると嬉しい	5	4	3	2	1
11. 漢字の学習方法がわからないからいやだ	5	4	3	2	1
12. 漢字がわかると、日本・日本社会で生活しやすくなる	5	4	3	2	1
13. 漢字の意味がわからないから困る	5	4	3	2	1
14. 読み方の似ている漢字が多いから難しい	5	4	3	2	1
15. 漢字の書き方を勉強するのが楽しい	5	4	3	2	1
16. 漢字がわかれば、様々なもの（小説・まんが・新聞等）が読めるようになる	5	4	3	2	1
17. 漢字の数がたくさんあるから困る	5	4	3	2	1
18. 漢字の形が絵のように見えて、おもしろい	5	4	3	2	1
19. 難しいことにチャレンジするのが好きだ	5	4	3	2	1
20. 漢字の書き方や書き順がわからないから困る	5	4	3	2	1

21. パソコンでタイプするので、漢字を勉強する必要はあまりない	5	4	3	2	1
22. 漢字の形が複雑だから難しい	5	4	3	2	1
23. 漢字の読み書きができると、周りの人に尊敬される	5	4	3	2	1
24. 努力しても、漢字が覚えられないからいやだ	5	4	3	2	1
25. 漢字のことばの意味が想像できると、日本語の文章がもっとわかりやすくなる	5	4	3	2	1
26. 漢字の読み方がわからないから困る	5	4	3	2	1
27. 日本語能力を高めるために、漢字を勉強する必要がある	5	4	3	2	1
28. 漢字は文字なのに、読み方も意味も表すからおもしろい	5	4	3	2	1
29. 漢字を暗記して覚える学習方法が好きだ	5	4	3	2	1
30. 日本文化を理解するために、漢字をたくさん暗記する必要がある	5	4	3	2	1
31. 漢字を覚えても、使い方がわからないから困る	5	4	3	2	1
32. 漢字の読み方を勉強するのが楽しい	5	4	3	2	1
33. 部首に意味があるから、おもしろい	5	4	3	2	1
34. 漢字を書き順のとおりにならなければならない	5	4	3	2	1
35. 漢字をかな交じり文で書いてある文章は、ひらがなだけの文章に比べて読みやすい	5	4	3	2	1
36. 漢字を学習するための特別な能力を持っている人がいる	5	4	3	2	1
37. 漢字をきれいに書かなければならない	5	4	3	2	1
38. 努力すれば、だれでも漢字学習は成功する	5	4	3	2	1
39. 間違えそうなら、漢字を使わないほうがいい	5	4	3	2	1

★ 5段階評定を 5 → 1 に反転

濱川祐紀代 (2017) 「非漢字系日本語学習者のための漢字学習の方法と意識に関する質問紙調査—調査の手順と調査票の共有—」『JSL 漢字学習研究会誌』9号、32-33. より引用し一部改変